

陳述書

2022年2月20日

東京都高等裁判所第8民事部E係 御中

住所 東京都町田市金森

氏名 有泉 重正

有泉 綾之

境川金森調節池工事は保育園を含む住宅地内の工事です。

工事中の騒音、振動、粉塵、空気汚染などの環境悪化、子供や住民の交通事故の危険性が直接影響する住民にとって8年の工期は長すぎます。子供を持つ家庭と余生を静かに過ごしたい高齢者世帯が水害対策で守るべき生命と生活を、逆に脅かす工事です。

住民をないがしろにして始まった工事は、工事説明会での約束さえ反故になっています。工事開始時間、搬出ルート変更、工事車両徐行速度などです。また、杭打機転倒事故（2019年）、救急車消防車の工事現場往来（2022年1/17）など不安なことは長期に続きます。

我が家で食卓に座っていて感じる振動は気持ちの悪いものです。パイコンベヤで道幅が狭くなり壁で視界が封鎖され、危険の予測も回避も出来なく、すれ違う人（自転車）すべてに恐怖を覚えます。また、迂回路となった住宅内には自転車、歩行者の通行が多くなり接触事故も多発しています。

この工事は2015年、住民に説明のないまま計画立案され、非公開で進められました。行政が初めに取り組むべき、住民との対話と議論をなぜしないのか。そこになぜ時間をかけないのか。

未来に負債を残し次世代に責任が持てない、この工事の差し止めをお願いします。

以上

陳述書

2022年2月20日

東京高等裁判所第8民事部E係 御中

住所 東京都町田市金森

氏名 星野 敬子

東京都による突然の長期に亘る工事が強行され自宅前の狭い生活道路は産業道路と化し交通事故の不安・住環境の悪化に強い精神的苦痛を受けています。工事に伴い住宅地内に車、自転車、歩行者の往来が増え自転車同士、自転車と車の事故、住宅地内の車への悪戯や家の覗き、窃盗も発生しています。交通量増加により大事故が起きていないのは偶然にすぎません。

懸念した工事現場内での事故も起こり町内会長が市長へ要請を出した2か月後やっと住民説明会が開かれました。住民の安全保全、予想される危険性について対策は不十分であり且つ無責任です。

当スポーツ広場は南地区少年少女のスポーツの中心地であり、いつ起こるかもしれない広域巨大災害に備える防災拠点として活用できる唯一の場所です。

住民の大切なコミュニティーを崩壊させ工事を強行する東京都に憤りを感じます。

この静かで安全な地域を守ってきた私達のささやかな日常を壊さないで下さい。

以上